

業 種	自動車（バス）
取組分野	内部監査
テ ー マ	外部専門機関を活用した内部監査の実施体制強化
取組の狙い	外部専門機関のコンサルタントを含めた内部監査チームを結成し、監査を実施することによって、内部監査の実効性の向上と、自社監査員の育成を図る。
具体的内容	<p>株式会社コスモスバスでは、自社での内部監査において以下の課題があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の実施有無といった適合性での評価に留まり、有効性での観点で評価ができていなかった。 ・不足している取組や課題があった場合において、改善方法の検討が不十分であり、内部監査が適切に機能できていなかった。 ・内部監査員における監査スキルの養成が不十分であった。 <p>そこで平成 30 年より、外部専門機関である東京海上ディーアール株式会社に支援を依頼し、同社のコンサルタント 1 名と自社の監査員 2 名にて監査チームを結成し、内部監査の実効性の向上と、自社監査員の育成を図り、ゆくゆくは自社のみで有効な内部監査を実施することを目的に、以下の取組を実施してきた。</p> <p>1. 外部コンサルタントが主体的に実施（平成 30 年度～令和 2 年度） 内部監査は、主に以下の流れに沿って実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①監査チームにおけるキックオフミーティング ②監査チェックリスト等の作成および関係文書等の確認 ③監査チームにおける監査事前打合せ ④経営トップ・安全統括管理者インタビューの実施 ⑤監査報告書の作成および監査結果報告会の実施 <p>上記について外部コンサルタントが主体的に実施し、自社監査員 2 名については外部コンサルタントをフォローし、監査手法の理解と習得に努めた。</p> <p>2. インタビューの一部等を自社監査員が実施（令和 3 年度） 自社監査員における監査手法の習熟が進んできたことを踏まえ、経営トップや、安全統括管理者インタビューについて、自社監査員と外部コンサルタントにて分担して対応した。また、自社監査員が監査報告書の一部を作成する等、前年度に対して自社監査員の関与度を増やした。</p>

	<p>3. インタビューや報告書作成等を自社監査員が主体的に実施（令和4年度）</p> <p>自社監査員が内部監査を主体的に実施することを前提として、以下の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①内部監査チェックリストや監査報告書フォーマットについて、自社監査員が実施しやすい様式に改訂 ②経営トップや、安全統括管理者インタビューについて、大部分を自社監査員が対応 ③内部監査チェックリスト、監査報告書の初稿を自社監査員が作成し、外部コンサルタントが追記・修正対応 ④自社監査員がメインスピーカーとして報告会を実施 ⑤報告会実施後に、監査チームで監査振り返りを行い、次年度に向けた改善点等について協議 ⑥自社監査員の監査スキルの習得状況について、自社監査員における自己評価および外部コンサルタントによるフィードバックを実施
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・適合性のみではなく、有効性の観点で自社の安全取組を評価できるようになり、監査の実効性が向上した。 ・自社監査員が取組の改善提案を立案する等、監査スキルが向上した。併せて、自社の安全管理体制改善に向けた使命感や意欲が向上した。 ・最終的には自社のみで内部監査が実施できるよう、引き続き、適宜外部コンサルタントを活用した体制構築に努める。
事業者名	<p>株式会社コスモスバス 運行管理課 (連絡先：047-457-8888)</p>